



農林中央金庫



FAEGER

越後製菓、創立 80 周年を機に新潟県産水稻由来 J-クレジットを活用

～農林中央金庫・フェイガーとの連携により、地域農業への還元を推進～

越後製菓株式会社（本社：新潟県長岡市、代表取締役社長：吉原 忠彦、以下「越後製菓」）は、農林中央金庫（本店：東京都千代田区、代表理事理事長：北林 太郎）および株式会社フェイガー（本社：東京都千代田区、代表取締役：石崎 貴紘）との連携により、新潟県内における持続可能な農業の推進と脱炭素社会の実現に向け、フェイガーが創出した新潟県産の水稻栽培由来 J-クレジットを活用したことをお知らせいたします。

本件は、フェイガーによる農業由来 J-クレジットの創出・活用の枠組みに加え、JA（農協）、JF（漁協）、JForest（森組）等を会員とし第一次産業を組織基盤とする農林中央金庫が農林水産業の脱炭素を進める取り組みの一環として推進する J-クレジットの媒介の仕組みも活用し、実現したものです。地域の農業生産者への還元を目的とする「カーボンクレジットの地産地消」モデルの具体的な取り組みです。

■ 背景と目的

越後製菓は、今年で創立 80 周年を迎えました。これまで「国内産もち米 100%」の使用にこだわり、高品質な製品を通じて日本の食文化に貢献してまいりました。一方で、国内もち米生産者の減少や、農業を取り巻く環境変化を重要課題と捉え、事業の根幹である「農業」への直接的な寄与と生産者支援のあり方を検討してまいりました。

この度、80 周年の節目における新たな取り組みとして、農業を通じた脱炭素化と農業自体の持続可能性向上を目指すフェイガーの活動に賛同し、地元・新潟県内の水稻栽培（中干し期間の延長）によって創出された J-クレジットを調達いたしました。

また、越後製菓ではこのサステナビリティに関する積極的な取り組みを、今後自社で共に働くことを目指す方々に対しても広く発信し、事業を通して「社会に役立つ企業となる」という姿勢を伝えてまいります。

NEWS RELEASE



食品の未来を築く
越後製菓株式会社

■ 本取り組みの意義：カーボンクレジットの地産地消

本取り組みにより、クレジットの購入代金が環境負荷低減に取り組む新潟県内の生産者へ還元されます。これは、気候変動対策としての脱炭素社会への貢献にとどまらず、日本の農業を支える農家の方々への直接的な支援に繋がるものです。

3社は、食品製造・金融・スタートアップそれぞれの知見を融合させることで、持続可能な食農バリューチェーンの構築と、地域農業のさらなる発展に寄与してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

越後製菓株式会社

窓口：総務部（風間） Tel: 0258-34-3564

株式会社フェイガー

窓口：マーケティング・リレーション推進室 PR担当（澤田） Tel : 03-6824-0769

農林中央金庫

窓口：経営企画部 広報コミュニケーション班（藏方・丹羽） Tel: 03-6362-7162